

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年11月14日

【四半期会計期間】 第46期第2四半期(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

【会社名】 平安レイサービス株式会社

【英訳名】 HEIAN CEREMONY SERVICE CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 相馬秀行

【本店の所在の場所】 神奈川県平塚市桜ヶ丘1番35号

【電話番号】 0463 - 34 - 2771 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役財務部長 土屋浩彦

【最寄りの連絡場所】 神奈川県平塚市桜ヶ丘1番35号

【電話番号】 0463 - 34 - 2771 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役財務部長 土屋浩彦

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第45期 第2四半期 連結累計期間	第46期 第2四半期 連結累計期間	第45期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (千円)	4,423,392	4,392,736	9,560,355
経常利益 (千円)	702,903	642,427	1,855,571
四半期(当期)純利益 (千円)	410,818	390,228	1,077,264
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	400,237	404,216	1,082,348
純資産額 (千円)	13,157,168	13,993,948	13,721,072
総資産額 (千円)	29,022,759	29,607,290	29,740,800
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	31.28	29.71	82.02
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	45.3	47.3	46.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	69,194	214,032	1,167,008
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	99,075	290,488	922,227
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	131,879	132,162	249,451
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	6,331,529	6,280,000	6,488,619

回次	第45期 第2四半期 連結会計期間	第46期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	15.92	13.43

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における日本経済の概況は、雇用・所得環境の改善や企業収益の持ち直しがみられる一方で、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動に加えて、円安による原材料等の価格上昇による影響が懸念され、先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強・新商品・新サービスの商品化による収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率の維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

冠婚事業

当事業では、一般婚礼の集客増を図るために、チャペル内を光とスモークでドラマティックな空間に演出する「天空への誓い」を新商品として、各媒体のビジュアル面の充実を図り、商品力の向上に努めてまいりました。

さらに、ロイヤルマナーフォートベルジュールにおいて大規模婚礼対応のバンケットホールを残したまま、中小規模婚礼にも対応可能なフロアリニューアルを実施するとともに、中小規模婚礼専用の新プランを作成いたしました。

その結果、前年同期に比べ、婚礼一組単価は小規模婚礼の取込みにより減少いたしましたが、婚礼施行組数は増加となり、売上高は201百万円（前年同期比6.5%増加）、営業利益は10百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

葬祭事業

当事業では、平成26年7月に貸切型の家族葬専用式場として新葬祭施設「湘和会館赤松」（茅ヶ崎市赤松町）をオープンいたしました。

また、既存葬祭施設では中小規模の葬儀にも対応可能なように「湘和会堂六会」（藤沢市亀井野）の全館改装を実施し、ご家族が故人にゆったりと寄り添える専用安置室「貴殯室」も新設いたしました。さらに、より魅力ある施設とするため、「湘和会館辻堂元町」「湘和会館愛甲石田」の外観リニューアルを行いました。

営業面では、施設見学会などのイベントを実施するとともに、エリア毎に変化を持たせた案内紙を配布するなど、広告活動の強化に努めて参りました。

当第2四半期連結会計期間における当社主要エリアのシェア率は前年同期と比べ上昇しましたが、死亡人口増加率は大きく下降したため、葬儀施行件数は減少となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における死亡人口増加率も前年同期と比べ下降となったものの、当社シェア率は上昇したため葬儀施行件数は増加、葬儀一件単価は会葬者数減少等の影響により減少し、売上高は3,666百万円（前年同期比1.5%減少）、経費については、「湘和会館赤松」の開業費用及び「湘和会堂六会」の改装費用が発生したこともあり、営業利益は895百万円（前年同期比11.8%減少）となりました。

互助会事業

当事業では、売上高は117百万円（前年同期比1.1%減少）、広告宣伝費の増加により営業利益は55百万円（前年同期比10.7%減少）となりました。

介護事業

当事業では、訪問看護・介護サービスの利用者数増と、高齢者向け賃貸住宅の広告強化により入居者数が順調に推移したことで、売上高は522百万円（前年同期比3.2%増加）、営業利益は34百万円（前年同期比35.3%増加）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,392百万円（前年同期比0.7%減少）、経費面では、子会社調理部門において前期に実施された厨房の一元化を労務効率の面でさらに向上させるため、葬祭部門の調理スペースの拡張工事を行い、冠婚・葬祭の調理部門を1フロアに統合した費用等が発生した事により、営業利益は587百万円（前年同期比8.4%減少）、経常利益は642百万円（前年同期比8.6%減少）、四半期純利益は390百万円（前年同期比5.0%減少）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して133百万円の減少となりました。流動資産では、法人税等の支払及び有形固定資産の取得により現金及び預金が211百万円減少、有価証券が償還、振替等により301百万円の増加となりました。また、投資その他の資産では、投資有価証券が取得、振替等により278百万円減少しております。

負債合計では、前連結会計年度末に比較して406百万円の減少となりました。流動負債では、法人税等の納付により未払法人税等が318百万円減少いたしました。固定負債では、前払式特定取引前受金が93百万円減少しております。

純資産は、前連結会計年度末と比較して272百万円の増加となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況は、営業活動の結果、獲得した資金は214百万円（前年同期比209.3%増加）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益642百万円、減価償却費238百万円が計上された一方で、前払式特定取引前受金の減少93百万円、仕入債務の減少40百万円、法人税等の支払548百万円が生じたことによるものであります。

投資活動の結果、使用した資金は290百万円（前年同期比193.2%増加）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出272百万円によるものであります。

財務活動の結果、使用した資金は132百万円（前年同期比0.2%増加）となりました。これは、配当金の支払132百万円によるものであります。

これにより、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ208百万円減少し、6,280百万円となりました。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	52,400,000
計	52,400,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,667,000	14,667,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株 式 単元株式数は100株であり ます
計	14,667,000	14,667,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年9月30日	-	14,667,000	-	785,518	-	2,838,393

(6) 【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
相馬 秀行	神奈川県中郡大磯町	2,327	15.87
小余綾弘産株式会社	神奈川県中郡大磯町	1,900	12.95
平安レイサーサービス株式会社	平塚市桜ヶ丘1番35号	1,532	10.45
BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/ABERDEEN GLOBAL CLIENT ASSETS (常任代理人 香港上海銀行 東京支店)	LU 33 RUE DE GASPERICH,L-5 826 HOWALD-HESPERANGE,LUXEMBOURG (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	1,311	8.94
相馬 かね	神奈川県中郡大磯町	1,044	7.12
相馬 ちず子	神奈川県平塚市	438	2.99
山田 雅孝	神奈川県中郡大磯町	415	2.83
山田 たか子	神奈川県中郡大磯町	399	2.72
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	367	2.50
内堀 弘	石川県金沢市	332	2.27
計		10,068	68.65

(注) アバディーン アセット マネージメント アジア リミテッド及びその共同保有者であるアバディーン投信投資顧問株式会社から、平成25年6月4日付で関東財務局長に提出された大量保有報告書により平成25年5月23日現在で1,471,900株を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認が出来ませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

また、スパークス・アセット・マネジメント株式会社から、平成23年1月18日付で関東財務局長に提出された大量保有報告書により平成23年1月14日現在で581,100株を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認が出来ませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、アバディーン アセット マネージメント アジア リミテッド及びその共同保有者であるアバディーン投信投資顧問株式会社及びスパークス・アセット・マネジメント株式会社の大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
アバディーン アセット マネージメント アジア リミテッド (Aberdeen Asset Management Asia Limited)	21チャーチストリート #01-01 キャピタルスクエア2 シンガポール 049480	1,306	8.91
アバディーン投信投資顧問株式会社	東京都港区虎ノ門一丁目2番3号虎ノ門清和ビル	165	1.12
計	-	1,471	10.04

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	東京都品川区大崎一丁目11番2号ゲートシティ大崎	581	3.96
計	-	581	3.96

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,532,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,132,800	131,328	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 1,300		同上
発行済株式総数	14,667,000		
総株主の議決権		131,328	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。
また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数10個が含まれております。

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
平安レイサービス 株式会社	神奈川県平塚市 桜ヶ丘1番35号	1,532,900	-	1,532,900	10.45
計		1,532,900	-	1,532,900	10.45

(注) 当該株式は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(自己株式等)」の欄に含めております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,612,354	6,401,245
売掛金	232,268	197,725
有価証券	6,501,165	6,802,430
商品及び製品	43,328	40,869
原材料及び貯蔵品	107,822	103,700
繰延税金資産	95,020	78,818
その他	103,707	161,959
貸倒引当金	1,635	1,786
流動資産合計	13,694,031	13,784,964
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,125,713	4,185,291
機械装置及び運搬具（純額）	105,242	102,357
工具、器具及び備品（純額）	143,266	148,311
土地	6,922,526	6,922,526
その他	78,090	68,397
有形固定資産合計	11,374,839	11,426,884
無形固定資産	35,603	30,264
投資その他の資産		
投資有価証券	1,822,103	1,543,110
長期貸付金	30,000	30,000
長期預金	600,000	600,000
繰延税金資産	295,211	284,919
その他	1,889,011	1,907,146
投資その他の資産合計	4,636,326	4,365,177
固定資産合計	16,046,769	15,822,325
資産合計	29,740,800	29,607,290

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	210,063	169,104
未払法人税等	527,531	209,520
掛金解約手数料戻し損失引当金	7,041	7,240
その他	610,050	645,835
流動負債合計	1,354,687	1,031,700
固定負債		
繰延税金負債	38,465	38,710
役員退職慰労引当金	85,764	85,764
退職給付に係る負債	77,025	83,032
資産除去債務	107,599	112,684
前払式特定取引前受金	14,332,268	14,238,343
その他	23,917	23,104
固定負債合計	14,665,041	14,581,641
負債合計	16,019,728	15,613,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	10,749,157	11,008,045
自己株式	670,468	670,468
株主資本合計	13,702,599	13,961,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,472	32,460
その他の包括利益累計額合計	18,472	32,460
純資産合計	13,721,072	13,993,948
負債純資産合計	29,740,800	29,607,290

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,423,392	4,392,736
売上原価	3,133,345	3,181,339
売上総利益	1,290,046	1,211,397
販売費及び一般管理費	1 649,372	1 624,367
営業利益	640,674	587,030
営業外収益		
受取利息	14,958	12,360
受取配当金	1,748	1,975
掛金解約手数料	20,415	13,534
その他	31,368	33,856
営業外収益合計	68,490	61,727
営業外費用		
供託委託手数料	2,834	2,636
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	714	2,267
保険解約損	1,145	337
その他	1,566	1,088
営業外費用合計	6,262	6,330
経常利益	702,903	642,427
税金等調整前四半期純利益	702,903	642,427
法人税、住民税及び事業税	294,700	233,374
法人税等調整額	2,616	18,824
法人税等合計	292,084	252,198
少数株主損益調整前四半期純利益	410,818	390,228
四半期純利益	410,818	390,228

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	410,818	390,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,580	13,987
その他の包括利益合計	10,580	13,987
四半期包括利益	400,237	404,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	400,237	404,216
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	702,903	642,427
減価償却費	228,592	238,953
掛金解約手数料戻し損失引当金の増減額 (は減少)	2,030	199
貸倒引当金の増減額(は減少)	17	150
退職給付引当金の増減額(は減少)	4,034	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	-	6,007
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	337	-
受取利息及び受取配当金	16,706	14,336
売上債権の増減額(は増加)	14,355	34,543
たな卸資産の増減額(は増加)	9,499	6,581
仕入債務の増減額(は減少)	42,643	40,959
前払式特定取引前受金の増減額(は減少)	108,649	93,924
その他	183,609	30,894
小計	586,392	748,747
利息及び配当金の受取額	21,751	14,227
法人税等の支払額	538,948	548,942
営業活動によるキャッシュ・フロー	69,194	214,032
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	35,075	25,490
定期預金の払戻による収入	27,980	27,980
有形固定資産の取得による支出	359,611	272,090
有形固定資産の売却による収入	491	28
無形固定資産の取得による支出	-	1,354
投資有価証券の取得による支出	3,300,408	2,701,885
投資有価証券の償還による収入	3,605,000	2,700,000
その他の支出	55,218	35,055
その他の収入	17,765	17,378
投資活動によるキャッシュ・フロー	99,075	290,488
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	131,879	132,162
財務活動によるキャッシュ・フロー	131,879	132,162
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	161,759	208,618
現金及び現金同等物の期首残高	6,493,289	6,488,619
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 6,331,529	1 6,280,000

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
広告宣伝費	140,033 千円	161,709 千円
役員報酬	46,973 "	44,720 "
給与手当	214,738 "	210,406 "
退職給付費用	19,958 "	21,946 "
減価償却費	17,128 "	20,214 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金	6,452,774 千円	6,401,245 千円
預入期間が3か月を超える 定期預金	121,245 "	121,245 "
現金及び現金同等物	6,331,529 千円	6,280,000 千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月24日 定時株主総会	普通株式	131,340	10	平成25年3月31日	平成25年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月7日 取締役会	普通株式	118,206	9	平成25年9月30日	平成25年12月4日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月25日 定時株主総会	普通株式	131,340	10	平成26年3月31日	平成26年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年11月7日 取締役会	普通株式	131,340	10	平成26年9月30日	平成26年12月4日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	189,215	3,723,077	2,682	506,270	4,421,245	2,146	4,423,392
セグメント間の内部売上高 又は振替高			116,418		116,418		116,418
計	189,215	3,723,077	119,100	506,270	4,537,664	2,146	4,539,810
セグメント利益又は損失()	3,521	1,015,812	62,209	25,807	1,100,308	333	1,100,641

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,100,308
「その他」の区分の利益	333
全社費用(注)	459,967
四半期連結損益計算書の営業利益	640,674

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	201,597	3,666,618	744	522,662	4,391,621	1,115	4,392,736
セグメント間の内部売上高 又は振替高			117,048		117,048		117,048
計	201,597	3,666,618	117,792	522,662	4,508,669	1,115	4,509,785
セグメント利益	10,144	895,755	55,555	34,918	996,373	210	996,584

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	996,373
「その他」の区分の利益	210
全社費用(注)	409,553
四半期連結損益計算書の営業利益	587,030

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

前連結会計年度末(平成26年3月31日)

(単位：千円)

科目	連結貸借対照表計上額	時価	差額	時価の算定方法
有価証券及び投資有価証券	8,255,463	8,255,463		(注)

(注) 有価証券及び投資有価証券の時価の算定方法

これらの時価について、株式は取引所の価格によっており、債券は取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。

当第2四半期連結会計期間末(平成26年9月30日)

有価証券、投資有価証券取引が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

(単位：千円)

科目	四半期連結 貸借対照表計上額	時価	差額	時価の算定方法
有価証券及び投資有価証券	8,277,736	8,277,736		(注)

(注) 有価証券及び投資有価証券の時価の算定方法

これらの時価について、株式は取引所の価格によっており、債券は取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。

(有価証券関係)

前連結会計年度末(平成26年3月31日)

1. その他有価証券で時価のあるもの

区分	取得原価(千円)	連結貸借対照表 計上額(千円)	差額(千円)
(1) 株式	24,553	82,181	57,627
(2) 債券			
国債・地方債等	7,802,353	7,803,562	1,209
社債			
その他	400,000	369,720	30,280
(3) その他			
合計	8,226,906	8,255,463	28,557

当第2四半期連結会計期間末(平成26年9月30日)

その他有価証券で時価のあるものが、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

1. その他有価証券で時価のあるもの

区分	取得原価(千円)	四半期連結貸借対照表 計上額(千円)	差額(千円)
(1) 株式	24,553	76,602	52,048
(2) 債券			
国債・地方債等	8,002,725	8,003,834	1,109
社債			
その他	200,000	197,300	2,700
(3) その他			
合計	8,227,278	8,277,736	50,457

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	31円28銭	29円71銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	410,818	390,228
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	410,818	390,228
普通株式の期中平均株式数(株)	13,134,033	13,134,033

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

第46期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)中間配当について、平成26年11月7日開催の取締役会において、平成26年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	131 百万円
1株当たりの金額	10 円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成26年12月4日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月7日

平安レイサーサービス株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	水	野	雅	史	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	五	十	嵐	徹	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている平安レイサーサービス株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、平安レイサーサービス株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。